



さくく風



【学校教育目標】 自ら学ぶ意欲と 豊かな創造力をもち たくましく生きる

令和5年度が修了しました！ ～式辞より「3つの幸せ」について～

校長 上野 精 嗣

3/15(金)に挙行された、第77回卒業証書授与式で40名の卒業生が巣立ち、本日の修了式で82名の在校生がその学年の全教育課程を修了することができました。これも、ご家族や地域など、多くの方々の温かい育みや慈しみがあってこそです。この場をお借りして感謝申し上げます。

今年度は、年間テーマ「No Start No Advance～始めなければ進まない～」を掲げ、特に三年生は学校の顔として、行事や生徒会、部活動など様々な活動でリーダーシップを発揮し、在校生の頼もしいお手本でした。鹿追中学校のスローガン「目配り・気配り・心配り」をしっかりと心掛け生活していました。これからも、支えてくれる方々への感謝の気持ちを大切に、新しい環境の中でも、これまで以上に前向きに生活してほしいと思います。

卒業式に際し、以下の「3つの幸せ」のお話を贈りました。

「幸せ」には3つの種類があると言われます。さて、どんな幸せでしょうか？

1つ目は「してもらおう」幸せ、2つ目は「できるようになる」幸せ、そして3つ目は「してあげる」幸せです。

赤ちゃんは、お腹がすいて大きな声で泣くと、ミルクを与えてもらえます。おむつが濡れて泣くと、おむつを取り替えてもらえます。甘えたいと思って泣けば、抱っこしてもらえます。そうすると、全力で泣いていた赤ちゃんは満足してピタリと泣き止みます。これが1つ目の「してもらおう」幸せです。

3歳くらいになると、それまでお父さんやお母さんに食べさせてもらっていたご飯を、自分で食べなくなります。ご飯をポロポロこぼしながらでも、お皿やスプーンを取って、自分で食べようとします。もう少し大きくなると、勉強がわかる、跳び箱が跳べるようになる、スケートを上手に滑ることができる、というように、いままでできなかったことが「できるようになる」ことで、自分に自信が持てるようになります。これが2つ目の「できるようになる」幸せです。

友達の力になってあげると、友達は喜んでくれます。また、お父さんやお母さんのお手伝いをすると、お父さんやお母さんは笑顔になります。そんな、人が喜んでいる姿や嬉しそうな顔を見たときに、「よかったな、嬉しいな」と幸せを感じる。これが最も大事な「してあげる」幸せです。

お父さん、お母さんが、皆さんに、限りない心からの愛を注ぐのは、みなさんの喜ぶ顔や笑顔が、自分自身の幸せと感じているからなのです。皆さんには、お父さん、お母さんのように、人のために「してあげる」ことを自分の幸せと感じられる人に育って欲しいと思います。高校では、中学校との違いに、戸惑い、悩むことがあるかもしれませんが、友人や仲間のために、行動できる人、何かをしてあげることができる人には、逆に周りのみんなが手を差し伸べてくれるはずですよ。

昨今、地震や大雨、コロナウイルス等の自然災害、そして戦争等、世界は様々な課題を抱えています。お互いに支え合い、助け合い、思いやれる社会を作り上げるために、必要な土台を高校で学び、大きな幸せ、ウェルビーイングを感じながら成長してください。(R5年度卒業証書授与式式辞より)

性の授業（3年）

新得高等支援学校の駒井先生を講師にお迎えし、3年生の「性の授業」を行いました。

- ・なぜ性について学ぶのか？
- ・プライベートゾーンと性暴力
- ・パーソナルスペースとバウンダリー（境界線）
- ・性の多様性

など、時代に即した重要な内容が盛り込まれた授業でした。



生徒総会・立会演説会

生徒総会では、3年生から多くの質問や意見が出されました。「後輩に託す」という思いが伝わってきました。その後行われた立会演説会では、5名の立候補者とその責任者による応援演説が行われました。公約をまとめると「生徒の考えを取り入れ、少しでも快適になるように、みんなが繋がって、笑顔咲く学校にするために、全校生徒の皆さんの明るい一票を！」

これまでの伝統に進取の気風を取り入れ、鹿追中学校がさらに発展することを期待しています。

卒業を祝う会

生徒会主催の、3年生の卒業を祝う会が開催されました。1～3年生ごちゃまぜでチームを作り、様々な教室に張られた2枚の絵の間違い探しをチームごとに解答するというものでした。こうして3年生と1、2年生と一緒に何か行えるのはこれが最後でした。全校生徒で思いっきり楽しみ、素敵な思い出をつくることができました。



後輩へのメッセージ

3年生が、中学校生活3年間で学んだこと、感じたこと、考えたこと等々、を後輩へメッセージとして伝えるとともに、1、2年生は3年生の話を聞き、これからの参考にし、より有意義な学校生活をつくりあげるための“カタリバ(語り場)”となりました。





4月行事予定



日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	月	安全点検日	16	火	
2	火	職員会議 辞令交付式 町校長・教頭合同会議	17	水	3年全国学調生徒質問紙調査 定例専門委員会（計画） 西南部中体連総会
3	水	職員会議	18	木	3年全国学調（国・数）
4	木		19	金	保護者面談開始
5	金	学級編成発表 10:00	20	土	全十勝春季サッカー大会
6	土		21	日	全十勝春季サッカー大会
7	日		22	月	振替休業日（4/13分）
8	月	着任式 始業式 入学式	23	火	
9	火		24	水	3年修学旅行
10	水		25	木	3年修学旅行
11	木	管内校長会議	26	金	3年修学旅行（町P連総会）
12	金	生徒会認証式・入会式・部活動紹介 管内教頭会議	27	土	全十勝春季サッカー大会 但田杯駅伝大会
13	土	第1回授業参観日 PTA 総会	28	日	
14	日		29	月	昭和の日 全十勝春季剣道大会
15	月		30	火	全学年学力テスト

●お知らせ1 【鹿追町幼小中高一貫教育サイト】

鹿追町の幼小中高一貫教育の情報が掲載されている HP をご存じでしょうか？ 本校以外の学校の取組や、マチコミのタイムライン以外の写真も載っていることがありますので、ぜひチェックしてみてください。

[鹿追町幼小中高一貫教育サイト \(shikaoui.ed.jp\)](http://shikaoui.ed.jp)

●お知らせ2 【自転車運転時のヘルメットの着用について】

改正道路交通法の施行（第63条の11）により、すべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。自転車を運転する際は、運転する方がヘルメットをかぶることに努めなければならないのはもちろんのこと、同乗する方にもヘルメットをかぶらせるように努めなければなりません。また、保護者等の方は、児童や幼児が自転車を運転する際は、ヘルメットをかぶらせるよう努めなければなりません。

自転車事故で死亡した人の64.9%が、頭部に致命傷を負っています。また、ヘルメットの着用状況による致死率では、着用している場合と比較して、着用していない場合の致死率は約2.7倍と高くなっています。命を守る為には、自転車用ヘルメットを着用し、頭部を守ることが重要です。

そこで、本校でも、R6年度4月より、自転車に乗車する際（登下校含む）には、ヘルメットを着用することといたしました。自転車通学を許可する条件の項目に「ヘルメット（の着用）」が盛り込まれましたので、各家庭でヘルメットの準備をお願いいたします。

～ 部活動等大会結果 ～

【令和5年度鹿追町スポーツ賞等並びに青少年文化賞等表彰】

3/9（土）町民ホールホワイトホール

<ジュニアスポーツ特別賞>

菅原 瑞生 第44回全国中学校スケート大会 男子 1000m 5位

<ジュニアスポーツ賞>

中野 隼 第14回北海道空手道選手権大会 中学1年男子の部 優勝

鹿追中学校野球部 第12回道央地区中学校軟式野球新人大会 準優勝

<ジュニアスポーツ奨励賞>

宮部 愛咲 第41回全十勝中学校新人陸上競技大会 女子 200m 1位

<青少年文化奨励賞>

鹿追中学校吹奏楽部 第68回帯広地区吹奏楽コンクール中学生C編成の部 金賞

中村 つぐみ 第62回全十勝学校書道書初展覧会 推選

<鹿追町読書感想文コンクール>

中野 隼 「100万回生きたねこ」を読んで 最優秀賞

三好 柚葉 「今夜、もし僕が死ななければ」を読んで 最優秀賞

武田 萌愛 「あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。」を読んで 優秀賞

西垣 美緒 「52ヘルツのクジラたち」を読んで 優秀賞

堀江 もも 「すべての瞬間が君だった」を読んで 優秀賞

菅原 瑞生 「一分間だけ」を読んで 優秀賞

中野 結 「君の臍臓を食べたい」を読んで 優秀賞



～ 転出職員挨拶 ～

このたびの人事異動により、3月末日をもって本校から転出する職員が4名おります。これまで、鹿追中学校や地域のために力を尽くしてこられた先生方が去ってしまうことはとても残念ですが、この鹿追での様々な経験を次の学校で活かし、さらにお力を発揮されることを祈念します。本当にありがとうございました。

なお、転出先につきましては、25日に新聞等で発表されますので、そちらでご確認ください。



高嶋幸太 教頭

目配り、気配り、心配りが素敵な先生方から実に多くのことを学ばせていただいた幸せな2年間でした。

また、自ら学ぶ意欲と豊かな心をもつ鹿中生、いつも学校を応援してくださる保護者の皆様、地域の方々には平素より温かく心強いご協力とご厚情を賜り心より御礼申し上げます。

新天地におきましても鹿追中学校での経験を胸に、微力ではございますが精一杯の努力を重ねる所存でございます。末筆ながら皆様のご健康とご活躍を心よりお祈りし、転任のご挨拶とさせていただきます。

朝日 誠 教諭

6年間大変お世話になりました。最後には卒業生が巣立つ場にもいることができいい思い出がたくさんできました。この6年間ではコロナウイルスもあり、いろいろなことが大きく変化と進化しました。自分としても家庭との両立の関係で、勤務の仕方も変則的でした。しかし、素直でまっすぐな生徒たちと保護者のみなさんのご理解とご協力、そして職場の先生がたの優しさに支えられ、なんとか仕事をすることができました。次の学校でも「おかげ様」の心を忘れず精進したいと思います。本当に6年間お世話になりました。



千葉 寛之 教諭

この度、転出することになりました。鹿追の皆さんには4年間お世話になりました。

慣れ親しんだ鹿追中学校を離れるのは大変名残惜しいのですが、皆さんと過ごした日々を糧として新天地でも頑張りたいと思います。

最後にもう一度皆様へ心から感謝の言葉を申し上げ、お別れの挨拶とさせていただきます。本当にどうもありがとうございました。

岩本明日香 事務職員

あっという間の2カ月と少しでした。私も春から、新しい学校での生活に緊張していますが、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。短い期間でしたが、お世話になりました。

